

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

事業名	これで安心、オンライン面接
団体名	特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所
法人設立年月	2001年8月
団体の目的	ジェンダー問題専門の民間シンクタンクとして、差別の撤廃、人権擁護及び男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
主な活動	ハラスメントやDV等の相談及びコンサルタント、調査研究、行政の計画策定支援、研修・人材養成講座、教材開発・出版
補助事業の概要	<p>(事業を実施した背景、事業内容、成果、次年度以降の展望)</p> <p>①事業を実施した背景</p> <p>コロナ禍により、就活者は活動期間が短くなるとともに未体験のオンライン面接が多くなり、自己アピールや企業と自分とのマッチングなどに対し不安が拡大している。また、オンラインで垣間見える私生活を詮索されるオンラインハラスメントへの対応も新たな課題となっている。特に、経済的な不安を抱えるシングルマザーや就職未経験の学生は特に困難を抱えることとなるため、オンラインで専門家による面接の練習や心理的支援を実施することとなった。</p> <p>②事業内容</p> <p>内容：オンラインによる面接相談 オンライン面接の練習、アドバイスや心理的支援</p> <p>日時：毎週月・水 13:00~17:00 (祝日は除く)</p> <p>対象者：シングルマザー 就職活動生</p> <p>場所：当事務所、相談員自宅</p> <p>使用通信アプリ：LINE, ZOOM。結果としてZOOMのみの利用</p> <p>当方で準備した端末：ノートPC1台、スマートフォン1台</p> <p>③成果</p> <p>利用者の満足度：100% (Google formによるオンラインアンケート実施)</p> <p>相談回数：20回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的アドバイスや練習により、利用者のオンライン面接への不安の軽減を図ることができた。 ・学生利用者のリピート率は高く、内定が得られない利用者への伴走をすることができた。 ・学生利用者の中には、信頼関係が構築された後に挫折体験(留学失敗や二浪、虐待)など強い負の体験が開示される場合があり、傾聴などカウンセリング技法による積極的な心理的支援を行って、自己肯定感の向上へとつないだ。 ・シングルマザーの利用が少なかったのは、就活対象の面接そのものがオンライ

	<p>ン化しなかったことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・企業の新卒学生対象の採用活動時期（2月～6月）が例年と大きな変わりはないため、今回事業の日程では当初計画していた利用者数獲得は難しかったと思われる。 <p>④次年度以降の展望</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の事業により、当研究所のオンライン相談の体制を構築できたため、ハラスメントやDVなどコロナ禍で事態の悪化が問題となっている被害者にとって、利用しやすい相談窓口の設置を検討する。・今回の成果と課題を、関係学会及び団体の全国的な研究発表の場において公表し、信頼関係の構築などオンライン相談の肯定的な面を広く周知する。
--	--

補足(1) 上記項目を満たしていれば、本様式以外を使用しても構いません。別紙記載例を参照してください。パワーポイント等で作成される場合は、10ページ以内とします。

(2) 活動写真を2、3枚程度添付してください。

(3) この報告書は、市ホームページに掲載するとともに、寄付者に送付している活動報告書を作成する際に活用させていただきます。

<実施状況の写真>

